

特定非営利活動法人 みなみ区民利用施設協会

令和 4 年度 全体研修実施報告

日時：令和4年7月19日(火)

会場：中村地区センター 体育室

今年度は地域福祉保健を取り巻く状況の変化や当協会が実施している福祉保健活動の支援向上を目的として「第4期南区地域福祉保健計画」について受講しました。



新井事務局長 挨拶・協会と研修の目的等について



「南区の特色」「第4期南区地域福祉保健計画」
講師：南区福祉保健課 山岡係長



「地区社協の活動」
講師：南区社会福祉協議会 内藤次長



「地域活動ホーム どんとこい・みなみ施設紹介」
講師：相談員 香月氏

「南区の特色」では南区民の健康に関して①高齢者が元気に過ごせる期間が短い②喫煙者が多い③健康だと自覚しているひとの割合が低いことの説明があり、南区民の強みである「人と人とのつながり」を生かした取組を進めたいとのお話がありました。「第4期南区地域福祉保健計画」については基本理念と住民参加の機会づくりなどの4つの目標を講演していただきました。

「地区社協の活動」においては区内16地区の地区社協が中心となり、「目指すまちの姿」に向かって地区別計画のとりまとめを行ったこと、様々な団体がよりよい「まちづくり」につながっており、そのための「場」が地区社協であることを学びました。参加された方の中で「地区社協」という名前は聞いたことはあるが、具体的な活動を知らなかったのととても参考になったとの意見がありました。

「地域活動ホーム どんとこい・みなみ」では様々な障害を抱えた方が利用しており、地域との関わりでは中村地区センターでの活動が紹介されました。

最後に各施設から「施設の仕事と地域活動がつながっていると思う取り組み」や「区民の方が地域活動とつながると、どんな良いことがあるか」などの意見交換がおこなわれました。

【参加者の声】

- 南区は高齢化が進んでいるのに平均自立期間が短い現状にビックリした。
- 地域と深く関係しながら福祉保健計画が立てられていることを知ることができてよかった。
- どんとこい・みなみの施設紹介が印象に残りました。
- 日常生活の中で近所同士の気軽な支えあい、人と人とのつながりの重要性を痛感した。
- 障害のある方とそうでない方の共生社会の実現に近づくとという言葉が印象に残った。

